

科目	臨床検査診断学	担当	下野 俊哉	履修学年	3年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

電気診断学的検査は臨床でよく遭遇する針筋電図と神経伝導検査と国家試験に出題されるSDカーブとし、検査方法と所見の読み方を講義する。その他の臨床検査では、近年、理学療法士・作業療法士が働く職場として増えつつある介護保険分野と健康増進分野で使われる評価法を中心に講義する。また、高齢者の寝たきり予防に必要な評価項目に重きを置き、サルコペニア、ロコモ、フレイルなどの新しい概念の内容もあわせて講義する。

【履修注意】

実技を行いながら講義するので実技ができる服装が望ましい。その必要性については、その都度、講義の中で指示する。

【評価方法】

定期試験、出欠席、授業態度を合わせて評価する。

【試験について】

試験は筆記試験で行う。

再試験対象者の条件: 本試験で60点未満を再試件対象者とする

【予習・復習】

学修時間は1単位45分が文部科学省指針です。1単位科目は90分の講義に対して45分、2単位科目は90分の講義に対して90分の自宅学習(予習、復習)が必要です。

【教科書】

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	電気診断学的検査(針筋電図)	末梢神経損傷と針筋電図のみかた
2	神経伝導検査とSDカーブ	神経伝導検査とSDカーブのみかた
3	サルコペニアと筋力	サルコペニア, フレイルの概念と評価法
4	骨粗鬆症と転倒リスク	骨密度評価, 骨粗鬆症の予防, 転倒予防法
5	ロコモティブシンドローム	ロコモの概念と評価, バランス機能の評価
6	血管機能, 歩行状態の評価	血管機能, 歩く機能の評価
7	食べる機能の評価	誤嚥性肺炎の評価, 呼吸機能, 栄養評価
8	定期試験	1~7コマの復習・確認・まとめ
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		